



平成 27 年 2 月 9 日

各位

会社名 株式会社ディー・ディー・エス
代表者 代表取締役社長 三吉野 健滋
(東証マザーズ・コード番号 3782)
問合せ先 取締役管理担当 貞方 渉
電話番号 0 5 2 - 9 5 5 - 5 7 2 0
(URL <http://www.dds.co.jp>)

営業外損益の発生並びに業績予想との差異に関するお知らせ

平成 26 年 7 月 15 日に公表いたしました平成 26 年 12 月期通期（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の業績予想と、実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また平成 26 年 12 月期第 4 四半期において営業外損益を計上することになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 12 月期通期業績予想数値との差異（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

〔連結〕

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	887	△69	△92	△17	—
今回実績 (B)	611	△339	△192	△100	
増減額 (B-A)	△276	△270	△100	△83	
増減率 (%)	△31.1%	—	—	—	
前期実績 (平成 24 年 12 月期)	530	△245	△257	△296	

〔個別〕

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	869	△66	△97	△21	—
今回実績 (B)	591	△337	△245	△153	
増減額 (B-A)	△278	△271	△148	△132	
増減率 (%)	△32.0%	—	—	—	
前期実績 (平成 24 年 12 月期)	527	△204	△305	△344	

2. 差異の理由

売上高において予定していた、FIDO 準拠製品および NNL 社ライセンスの国内販売についての売上が次期にずれ込み、また一部大型営業案件の延期や営業案件の失注があったため、連結では 276 百万円、単体では 278 百万円予想を下回りました。これらの要因による売上の減少に伴い、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を下回りました。

また監査法人との間で、平成 26 年 12 月期第 3 四半期以降継続的に計上しているシナプティクス社からの収入を営業収益、営業外収益または特別利益とするかについて、今般まで協議を進めた結果、当該収益については営業外収益として計上することになりました。経緯や詳細については、平成 26 年 10 月 8 日付に『(開示事項の経過)「業績連動支払分」による収益の発生に関するお知らせ』をご参照ください。

3. 営業外収益の内容

為替相場の変動により為替差益 91 百万円を、シナプティクス社との契約に基づく売上連動収益 71 百万円を、連結および単体でそれぞれ計上いたします。

4. 営業外費用の内容

増資に伴う新株発行費用の償却により新株発行費償却 3 百万円、貸倒引当金繰入額として 2 百万円、遊休不動産の減損評価による不動産鑑定費用による支払報酬 2 百万円を、連結および単体でそれぞれ計上いたします。

以 上